

2017年1月吉日

出展ご希望企業様

ナノ学会 会長 佃 達哉 (東京大学 教授)
第15回大会実行委員長 村越 敬 (北海道大学 教授)

ナノ学会第15回大会趣意書

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

さて、2017年5月10日(水)から12日(金)の3日間にわたり、北海道立道民活動センターかでの2・7において「ナノ学会第15回大会」を開催する運びとなりました。

「ナノ学会」は2002年に、日本のナノサイエンスおよびナノテクノロジーの総合学会を目指して、「超微粒子とクラスター懇談会」(1997年設立)を改組・発展する形で発足致しました。本学会の使命は、基礎から応用に至るナノサイエンスおよびナノテクノロジーに関わる産学官の研究者が、従来の学会の枠を超えて分野横断的に情報・意見交換を行うことによって我が国におけるナノテクノロジー分野の学術基盤を確立し、新産業技術を創出することにあります。これまでに歴代会長(仁科雄一朗氏、茅幸二氏、川添良幸氏、曾根純一氏)のもとで学会としての基盤が整備され、2016年からは佃達哉会長(東京大学)のしなやかなリーダーシップのもと、活発な学会活動を繰り広げております。ナノ学会は、「ナノ構造・物性」、「ナノ機能・応用」、「ナノバイオ・メディシン」の3つの部会で構成されており、シンポジウムなどの企画を通して専門的な知識の習得や情報の交換のための場を会員に提供しています。また、学会誌「Bulletin of the Nano Science and Technology」の発行や若手研究者を後押しするための顕彰活動を行っています。

毎年一回開催されるナノ学会大会は、2003年に学会創立大会が神戸で開催されて以来、日本各地で毎年開催され、毎回数百名の方々にご参加いただいております。最先端のナノ科学技術の研究成果を持ち寄り、企業展示とともに、より分野・産学横断的な人材交流や情報交換の機会を提供しています。この大会は、ナノ科学技術分野のフロントランナーの講演に触発されることで、新しい発想や着想が生まれる可能性に満ちています。

本大会開催に必要な経費は、基本的には参加者の参加登録費と協賛団体および基金団体からの資金で賄われております。経費節減のため、関係者一同あらゆる努力を重ねておりますが、開催費用の捻出に苦慮している状況にあります。このような状況を打開するため、法人の皆様のご援助をお願い申し上げます。いまだ厳しい経済情勢ではありますが、我が国の科学技術における「ナノ学会」の果たすべき役割をご賢察のうえ、ご支援いただきますことを、切にお願い申し上げます。

本趣意書では、協賛、予稿集広告掲載、併設展示会(機器・書籍)募集書をつけております。末筆ながら、貴社、貴団体の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

ナノ学会第15回大会

協賛・広告掲載・併設展示会出展
募 集 要 項

ナノ学会第15回大会を、2017年5月10日(水)～12日(金)の3日間の日程で北海道立道民活動センター かでる2・7において開催いたします。つきましては、下記の要領で協賛・予稿集広告掲載・併設展示会出展を募集いたします。暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【協 賛】

1 口 50,000 円

口数に応じて、大会登録料無料、懇親会にご招待いたします。
(1口につき1名様)

【予稿集広告掲載】

講演予稿集はA4判 / 400頁 / 300部 の発行を予定しております。
原稿提出は電子データにてお願いします。また、プリントしたものを
1枚添付してください。(2017年3月24日必着(予定))。

表紙 A 100,000 円 (裏表紙) (受付終了致しました)

表紙 B 50,000 円 (裏表紙見返し) (受付終了致しました)

表紙 C 80,000 円 (表紙見返し) (受付終了致しました)

後付1頁 30,000 円

【併設展示会出展】※搬出入等の詳細は別途連絡いたします。

機器展示会場：会期中、学会会場搬入口に設置いたします。

基礎小間には、社名板とバックパネル展示台が備わります。

特別装飾等は出展者負担となります。

使用可能な電気容量は限られます。必要な場合は予めご相談ください。

1 小間 70,000 円

小間数に応じて、大会登録料無料、懇親会にご招待いたします。

(1小間：1名様)

書籍展示会場：会期中、学会会場正面入り口に設置いたします。基礎小間は、社名板および長机1本分のスペースです。バックパネル・特別装飾等は出展者負担となります。

1 小間 50,000 円

申 込 締 切： 2017年3月15日(予定)

申 込 方 法： 申込書に必要事項をご記入の上、下記事務局宛にお送り下さい。

なお、以上の全ての項目に関し、お申込みいただき次第、ご希望に応じて当大会HPに、
御社HPへのリンクバナーを掲載させていただきます。

・・・お問合せ・お申込先・・・

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学大学院・理学研究院化学部門 物理化学研究室内

FAX: 011-706-4684 FAX: 011-706-4810

E-MAIL: nano15@mtg-officepolaris.com

ナノ学会第15回大会開催概要

【会 期】 2017年5月10日(水)～12日(金)
【会 場】 北海道立道民活動センター かでる2・7
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル
【主 催】 ナノ学会(第15回大会実行委員会)

【実行委員会】

実行委員長 村越 敬(北海道大学大学院理学研究院)
副実行委員長 米澤 徹(北海道大学大学院工学研究科)
委 員 武次 徹也(北海道大学大学院理学研究院)
小林 正人(北海道大学大学院理学研究院)
加藤 昌子(北海道大学大学院理学研究院)
小林 厚志(北海道大学大学院理学研究院)
吉田 将己(北海道大学大学院理学研究院)
長谷川靖哉(北海道大学大学院工学研究科)
中西 貴之(北海道大学大学院工学研究科)
石田 洋平(北海道大学大学院工学研究科)
八木 一三(北海道大学大学院地球環境科学研究院)
小西 克明(北海道大学大学院地球環境科学研究院)
加藤 優(北海道大学大学院地球環境科学研究院)
七分 勇勝(北海道大学大学院地球環境科学研究院)
居城 邦治(北海道大学電子科学研究所)
カートハウス・オラフ(千歳科学技術大学総合光科学部バイオ・マテリアル学科)
雲林院 宏(北海道大学電子科学研究所)
猪瀬 朋子(北海道大学電子科学研究所)
高瀬 舞(室蘭工業大学工学部材料物性工学科)
保田 諭(北海道大学大学院理学研究院)
南本 大穂(北海道大学大学院理学研究院)

【後 援】

応用物理学会	物理学会	日本化学会	触媒学会
日本表面科学会	日本磁気学会	高分子学会	日本生物物理学会
日本MRS	電子情報通信学会	日本材料学会	錯体化学会
日本機械学会	日本分析化学会	電気化学会	光化学協会

【参加者数】 国内外より250名(予定)

【プログラム概要】

- ・テーマ 「エネジェティック・ナノサイエンス」
- ・基調講演(敬称略)
 - 堂免 一成(東京大学大学院工学系研究科 教授)
「大規模応用を目指した太陽光と水からの水素生成光触媒開発の現状と展望」
 - 石原 一(大阪府立大学工学研究科 教授) 「光圧が拓く次世代のナノ光科学」
 - 君塚信夫(九州大学大学院工学研究院 教授)
「分子組織化に基づくフォトン・アップコンバージョンの化学」
- ・招待講演 8件程度
- ・一般研究発表 ポスターおよび口頭による研究成果発表(約250題予定)
- ・分野 ナノ構造・物性, ナノ機能・応用, ナノバイオ・メディシンに関わる研究
キーワード: クラスタ, 微粒子, 表面・界面, 触媒, 超微細構造体, ナノエレクトロニクス・フォトニクス, ナノスピ, 生体関連物質, DDS, バイオチップなど

ナノ学会第15回大会事務局 宛

FAX : 011-706-4810

E-mail: nano15@mtg-officepolaris.com

ナノ学会第15回大会
協賛・広告掲載・併設展示会出展
申 込 書

下記の通り申込みいたします。

年 月 日

貴 社 名 _____

御担当者芳名 _____

御 連 絡 先 (〒 _____)

Tel : _____ Fax : _____

E-mail : _____ @ _____

お申込みの該当項目に、必要事項をご記入ください。

【協 賛】 金 _____ 円也 (_____ 口)

【予稿集広告掲載】 ご希望のものに○を記してください。

—() 表紙 A — 100,000 円 (受付終了致しました)

—() 表紙 B — 50,000 円 (受付終了致しました)

() 表紙 C 80,000 円

() 後付 1 頁 30,000 円

【併設展示会出展】 機器展示 (@ 70,000 円) _____ 小間

書籍展示 (@ 50,000 円) _____ 小間

申込金額計 _____ 円也

【大会HPリンク】 本大会HPから御社HPへのリンクをご希望ですか？

(はい ・ いいえ)

御社HPのURL (リンクご希望の場合) :

【その他ご質問等】 _____

(_____)